

令和5年度「未来の技能者育成事業」体験授業実施結果報告書

2023.08.07(月)

事業コード	23-G-03	学校名	郡上市立郡上東中学校		住所	郡上市和良町法師丸196番地-1
実施日	7月11日(火)13:40~15:55				受講児童生徒数	39名(1年15名/2年15名/3年9名)
開講職種数	3職種	指導者数	4名	参観保護者数	2名	

学校アンケートの結果

- 体験授業全体を通して、満足していただける内容となりましたか
 - ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった
- 貴校の児童生徒が将来技能者を目指すに当たっての課題や、ご意見があればお聞かせください
 - ・どの講師の方も生徒の反応を確認しながら講話や実演を進めていただけ、生徒はものづくりの楽しさを実感したり、将来について考える機会を得たりすることができました。
 ・生徒が時間内に活動を終わることができるように、細かな配慮の基、準備していただけたことが伝わってきました。器用さや理解に個人差があってもそれぞれに対応した丁寧な指導がありがたかったです。
 ・他地区に比べて校区内の事業所が少なく、業種も偏っています。そのため、2年生で行う勤労体験学習では、生徒の希望がなかなか叶うことができません。今回のような複数の業種を体験し、ものづくりへの関心を高める場が今後も続くことを切に願っております。

会場担当教員アンケートの結果（3会場の先生）

- この体験授業にて児童生徒にものづくりの魅力や意義が伝わったと思いますか

①大変よく伝わった	→	3	②ある程度伝わった	→	
③あまり伝わらなかった	→		④全く伝わらなかった	→	
- 児童生徒の皆さんが技能者を目指すに当たっての課題と思われることを自由にお書きください
 - ・技能者は、自分の興味と技術の両方が備わっていることが大切だと思うので、自己分析をしたり、技能者についてよく調べたりする学習を通して、技能者がより身近に感じられるような工夫をしていきたいと思う。(寝具製作会場)
 ・体験すると分かる素材の特徴やそれに合わせた加工の魅力、試行錯誤してよりよい作品を求めることで生まれる充実感や達成感を実感させていくことで、志す若者を増やしていくこと。(家具製作会場)
 ・今回のような体験は、他地区に比べて職種が少ない和良に住む生徒には大変貴重な場となった。今後も引き続き、様々な技能者との交流ができることを願っている。(貴金属装身具製作会場)

指導者アンケートの結果（3職種の各代表）

- 今回の授業は指導者として満足できる内容になったと思いますか

①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった	3
②興味関心を示さない児童生徒も少しはいたが、概ね満足できる内容であった	
③興味関心を示さない児童生徒が多く、あまり満足できる内容ではなかった	
④ほとんどの児童生徒が興味関心を示さず、まったく満足できる内容ではなかった	
- 今後の業界における人材育成の課題についてお聞かせください。また、その課題の解決に関して、この体験授業の中でさらなる要望がもしありましたら、お聞かせください
 - ・学校で体験授業を行えることが素晴らしい。地域のイベントなどでものづくりの体験を行うことがあるが、極めて短時間であるため、興味や関心を引いたり、職業理解にあまり効果が感じられない。その点、この体験授業は、学校の教室ででき、そこには学校の先生もみえるので、子ども達は真剣に職業講話を聞いたり、体験活動に挑戦したりと、しっかりキャリア教育として成り立っている。担い手不足や後継者育成など、業界全体でも様々な問題を抱え、喫緊の課題に取り組まなければならない現況の中、手仕事を生業とする職人の生の声を聞いてもらい、仕事に対する考え方やものづくりにかける想いなどが、子ども達の将来の夢(職業)を考える一つのヒントとして参考になれば幸いです。是非、事業の更なる拡張をお願いします。(寝具製作職種)
 ・準備段階から学校の先生が、こまめに連絡を取ってくださり、とてもスムーズに体験授業を行うことができました。さて、子ども達の将来の夢(やりたい職業)を決める年齢が、年々早くなっているように思います。早い段階で、いろいろな体験をすることは、進路決定のきっかけづくりになり、大変貴重な学習だと思います。是非、事業の存続と、職種の拡張をお願いします。(家具製作職種)
 ・生徒の興味深そうな顔が印象的でした。ものを作る楽しさを味わってもらえたと思います。とても気持ちよく体験授業をさせていただきました。さて、普段見ることができない職人の仕事、完成した物は目にするが、どのように作るのか、どのようなことに注意しているか、その機会に触れることができる体験授業は、とても素晴らしいと思います。「いろいろな職種を体験でき、ものづくりの魅力を伝える」この事業が広まることを願います。(貴金属装身具製作職種)

会場別の指導者数・受講者数・児童生徒アンケートの結果

【児童生徒 アンケートの質問】 今回の体験授業全体を通して、どれくらい満足されましたか

	寝具製作	家具製作	貴金属装身具製作	合計(左:人 右:%)	
指導者数	1	2	1	4	
受講児童生徒数	13	13	13	39	
回答	とても満足した	13	11	35	89.7
	ある程度満足した	0	2	4	10.3
	あまり満足できなかった	0	0	0	0.0
	満足できなかった	0	0	0	0.0
	合計	13	13	13	39

寝具製作会場の様子



先生の感想

・サラリーマンだった講師が、テレビに出ていた布団職人を見て「やっぱり自分の好きなものづくりがやりたい」と好きなことを仕事にするきっかけにしていたことに驚いた。また、転職するにあたって「失敗したらやめればよい」という生半可な気持ちではなく、「絶対にこの道でやっていくんだ、やるなら真剣にやる」と強い意志をもち挑戦されていたことが、生徒が今後進路を考える上で参考になる考え方と思った。

・子どもから大人まで幅広い世代が1日の三分の一を睡眠にあてており、生活に必要な不可欠な布団をつくることは非常に価値のあること、人々の生活の一部になっている布団を製作することに大きな誇りをもつべきだという熱意が伝わってきた。

・仕事をするうえで大切なのは注文してくれた人につくることだけではなく、その方の未来まで自分自身が関わっていくことだと話してくださった。また、和良という地域が生徒にとってもどんな場所なのか分からないが、雄大な自然の中でできるものづくりに付加価値が付き、それが日本中に広まり、またそれが地域を活性化することにつながるのだと、地域を大切に誇りにする意味を教えていただいた。

・職業講話では講師の方のお仕事に対する考えや布団づくりに必要な材料などを詳しく説明していただけたので、ものづくりに携わる職人の方の思いに気付き、感謝していきたいと考えたきっかけになった。体験授業では、講師の方が実演したり、作る時と説明を聞くときのメリハリをつけてくださったりしたので、生徒も安心して製作することができた。また講師の方が生徒の「すごい！」や「お～」などの反応にたいねいに対応して下さり、最後まで楽しく製作することができた。

児童生徒の感想

・布団職人になったきっかけを聞いて、自分がやると決めたことには、手を抜かず、まっすぐに取り組んできて、その努力があって布団職人になれたという話を聞いたときに、びっくりしたと共に、すごいと思った。

・講師の方の話を聞いて、やりたいと思ったことを、最後まで真剣に取り組んだということが、特に印象に残った。また、実演の時に先生の作った座布団の角の部分の綿の入り方が、私達とは全然違ってさすがプロだと実感した。普段仕事で使っている綿は10種類以上あって、目的に合わせて何種類かを組み合わせ使っていると聞いて驚いた。

・まとめの時に聞いた話で「やるなら最後までやりきることが大切」と聞いて、自分も将来の夢があるので、その夢に向かってがんばろうと思った。

・綿の角の部分の作り方など、想像していたよりも難しく大変だったけど、とても楽しかった。普段使っている座布団がどのように作られているか初めて知って、すごく面白かった。

・私たちは2時間近くかけて1つの座布団を作ったけど、先生から「25分で作れます」と聞いて、私たちも少しだけ「そうやってみたい」と思いました。難しかったけど、面白かったです。

家具製作会場の様子



先生の感想

・職業講話では、曲木の技術が海外のものであるという意外な歴史や、作業工程の中にみられる職人のこだわりを知ることができた。

・木を曲げる工程では、生徒の予想に反して、堅い木材が想像以上に柔らかく、強い力をかけることなく曲がった時、驚きと新しい発見から感動する表情が見られた。

・質疑応答では、生徒が自ら職業観に触れようと積極的に発言する姿が見られた。一流の職人から教わる体験活動から、「知りたい」という好奇心が生まれた。

・質疑応答の中で、「働く前に学ぶことよりも、働き始めてから学ぶことの方がとても多い」という話があり、学ぶことの意味、学び続けることの重要性を各教育活動の中で伝えていきたいと考えた。

・プレゼンテーションや資料映像などの準備をしていただき、分かりやすく歴史や製造過程を学ぶことができました。また、体験活動では道具の使い方から「コツ」まで教えていただいたり、効率よく体験ができるようにグループごとに違った工程を体験できるように場の設定をしりしていただけていました。生徒の疑問については、体験活動中から随時答えていただき、生徒の好奇心を高めることができました。

児童生徒の感想

・私は今回の体験授業を受けて、初めはなぜ曲げ木ができるか不思議だったけど、話を聞いたり、実際にやってみて、よく理解できました。また、工場の動画を見せてもらった時、見たこともないいろいろな作業や専門の機械をつかうということがすごく印象に残りました。

・曲げ木の技術がとてもすごいと思っていて、自分も木を曲げたり、切ったり、穴を開けたり、磨いたり、スプレー塗装をしたりと、とてもいい体験になりました。また、自分が作った一輪挿しを、家で大切に使いたいと思いました。

・飛騨地方では、家具を製作している会社が、工房も含めて50社以上あることを聞いて、びっくりしました。製作実演では、こんなふうにも木が曲がるんだと、曲げ木体験を通して感じることができました。

・普段やることのないようなことを、プロの方から分かりやすく教えてもらい、体験することもできて、とても楽しかったです。

・職業の多くは、就職前に学んで、資格を取ることで、就職後に働きながら学ぶことの方が多くという話を聞き、大人になってからも勉強していくために、中学生のうちから勉強するくせをつけることが大切だと思った。

・曲げ木技術はドイツ発祥ということ、飛騨地方の家具産業は曲げ木技術を導入したことで発展し、今では全国1位になっているということも、初めて知りました。印象に残ったことは、よりよい家具を作るために、専門の機械だけでなく、人の手も入っているということです。

貴金属装身具製作会場の様子



先生の感想

- ・マイスターの先生のお話は、働くことに対する大変さや責任、やりがいを語っていただけ、生徒は働くことに対して興味をもち、考えることができた。また、実演を目のあたりにして、その技術の高さに圧倒され、ずっと見ていたいという生徒もいた。
- ・体験活動では、マイスターさんが優しくアドバイスやコツを教えてくださいましたおかげで、それまで悩んでいた生徒も自分の力で一つの作品を作り上げることができた。また、洗浄機の使い方について、生徒同士で優しく教え合いをする姿が見られた。
- ・質問の時間は多くの生徒が質問していた。質問の内容はものづくりに興味をもった質問が多かったので、ものづくりという仕事に対して興味をもつことができた。また、マイスターさんが質問に対して答えて下さったときの反応が良く、真剣に話を聞いている姿が印象的だった。
- ・仲間と協力して、笑顔で指輪を作っている姿が本当に素敵だった。けがもなく活動ができてよかった。
- ・職業講話では動画を用意していただき、非常にわかりやすく、実演の際にも全員が見られるような配慮をしてくださりありがたかった。さまざまな配慮をしてくださったおかげで、生徒たちは楽しくものづくりや働くことに対して向き合えたと思う。貴重な機会だった。

児童生徒の感想

- ・製作実演を見ていて、こんなに細かい形まで作れるのだと驚きました。
- ・体験で使った純銀の針金状のものを準備されている動画を見て、すごく多くの工程があって、あれを一人でやられていることが分かって、ありがたかった。
- ・一つ一つの技術だったり、細かい作業を長い時間をかけて作られていることが分かったし、お話を聞いて、仕事の楽しさを知ることができて、良かったです。
- ・アクセサリーの種類によって、作り方を変えたり、工夫をしたりしているのが、完成した作品を見ただけで、よく伝わってきました。
- ・作る前に設計図をすごく丁寧に書かれていたことが、すごく印象に残った。
- ・指輪を作るときは、なかなか材料が曲がらなかったけど、マイスターの方にコツを教えてもらったら、すぐにできるようになったことが、印象に残りました。
- ・指輪づくりは、力がいるところもあって大変だったけど、「自分で作ったんだ」という達成感がより一層増しました。
- ・トンボのアクセサリーの製作実演を見て、とても細かい作業を平然とされていてすごいと思いました。
- ・「なぜこの仕事を選んだのか」という質問に対して、「好きだから続けてこられた」というお話がすごく印象的でした。「好き」という気持ちを大切にしたいと思った。
- ・純銀の針金状のものを曲げるのは大変だったけど、磨いて洗ってを繰り返していると、どんどん綺麗になって、達成感がありました。